

公共事業の行方を考える。 地元業者を優先せよ。

春一番が吹く頃になった。西大寺の会陽（はだか祭り）が終れば、備前平野には春がおとずれる。もうすぐ春ですね……。先日は、瀬戸大橋線が海の上で強風のために立ち往生して、遅れがでました。今頃の季節は、よくあることらしいです。

1. 国なんか当てにできない。

地方は、みずから生き抜く力を身につけようではありませんか。県をはじめ市町村は、当てにしていた地方交付税の大幅削減で財源不足が膨らんで行き詰ってしまい新年後の予算案づくりに四苦八苦しているそうです。借金が限度いっぱい、これ以上借りれば、赤字団体になるという瀬戸際のところもある。

国は三位一体改革というわけのわからない名のもとで、あめ玉をくばる量を減らすということになった。もっとほしいと肥満体になった子供がダダをこねているという図式だ。

考えすぎかもしれないが、市町村合併を促進させるための奥の手的手段かもしれない。あるいは、早く、巢立ちを促しているともいえる。岡山県は、5%前後職員の年俸を減らして、削減したと格好をつけるが、2割程度削減しないと減らしたことになる。地方振興局を三局程度に減らすという。振興局をなくした場合、そこに勤めている人をどこに配置換えするのか？ 本庁は人がいっぱい入るところはないのではないかな。市町村への押し掛けの天下りを打診しても、御免被るということになるだろう。

そうだとすれば、同じ県庁職員だから警察官への配置転換を考えたらどうか、一策である。治安が悪くなっているから、武器を持たない警察官としての任務をさせるのである。

志願制度を創設して、たとえば 2 年間警察勤務がないものは、課長以上には登用しないという条例を作ればよい。頭が良くて机にすわって、小理屈をひねくりまわして県民からの追及に逃げ道を考えるより、体を張った実務につき県民の生の声を聞いて職務に役立つということの方がいくら良いか分からないと思う。東京都は、すでに警視庁等へ出向させる制度が取り入れられることになっている。(決定済み)

第三次行財政改革に取り組む県だが、雲行きがおかしくなってきた。今までのつけが一

気に嘖き出してきている。単なる小手先だけではダメで整理（特別調停などの法的手段）すべきものは、清算する必要があるようだ。

いずれにせよ、無い袖はふれないのだ。幹部をはじめ、公務員は、まだまだ、深刻さが足りず、どこからともなくお金が湧いてくる。すなわち、隠し財源でもあるのかと外部の者からみれば思えます。例えば、臨時職員の採用は取り止めて、自分たちでコピーをするとか、お抱え運転手を配転して、タクシーに切り変えるとか、いくらでもやろうと思えば、すぐにできる日常茶飯事のことも多いようですがいかがでしょうか・・・？ 私には、素直なところそう思えます。

2. 岡山の食文化は高い水準にある。

東京をはじめ、あちらこちらへ行く機会が多いので県外の食べ物を食することも多い。庶民の行く一般食堂が食の対象だが、総じて岡山の食べものは旨いと思う。名は売れててもたいしたことはないという土産物が、結構多いのが常であるが、岡山の場合、食べ物は全国的に見ても引けをとらないのではないかな。味はよいと思う。

博多で寒い中、長時間列を待って、屋台ラーメンを食べたが、さほど旨いとは思わなかった。岡山のラーメンの方がおいしいのでは・・・。ただラーメンに関する限りは好みがあるから一概にはいえないが・・・。

東京の築地には、新規の地下鉄ができたこともあって、築地場外市場にはたいへんな人が押し寄せている。まぐろ井などこれも行列ができています。だが、それほど旨いとも思わなかった。岡山でも旨いまぐろもいるから、わざわざ、食べに行くほどではないだろう。話の種にはなるだろうが。今、岡山では“さわら”を売り出し中。昔からさわらを入れた岡山のばら寿司は、どこの家庭でも作っていた。酔付けしたさわらをのせた寿司はおいしかった。さわらを西洋料理用にアレンジしたり、いろいろ試行錯誤して新ネタを考えているようだが、ここは伝統料理一本で通すことも大切ではないかと思う。長い間の歴史が物語っているように、庶民の岡山の味として生き残ってきているという現実がある。ただ、さわらが少なくなっているのが気掛かりだ。

地産地消という言葉が流行っている。一言でいうと地方で取れた物をその地方の人が食べるということだ。運送コストも安い新鮮さがあり、地元民の口に合う。外国産（珍しさと安いのがとりえか）のものに走ることはないのである。

道の駅では、その地方のものを売っているので、楽しみに賢い出しに行くこともあるが、どこの道の駅においてもお目にかかる同じ物があるので、生産地をみるとその地方とは関係のないところのものが結構混じっている。品揃えするのが大変なのか、安直に楽をして儲けようとしているのかよく分からないが、お客様の気持ちをつかむ努力がいる。

道の駅の運営方針にも関係しているのだろうが、地元をもっと大切にして・地元優先で

行えばファンは必ずリピーターとして訪れるものである。都会の人が田舎に何を求めているかを考え直す時期が来ている。

3. 屈辱を起爆剤に奮起

新しい公共事業の方策として、PFI（公共施設等を民間資本を活用して整備する公共事業）があり、すでに行われている。しかし、政府の見通しでは、これから数が増えて全体の15%程度の公共事業に適用されるはずである。（発祥の国イギリスがそのレベルだから）

本来、公共団体や事業者など関係者みんなが有利になるがゆえに行う公共事業（PFI）なのである。ところが、公共団体は、お金がない。金がないから仕事をしないということでは困る。だから土地は提供するから、企画、建築、運営を民間に任せて全てをやらせてもらう方式が多くなっている。いわば、長期延払いである。地方交付金が大幅にカットされるようになると勢いPFIを活用するようになる。ほとんどの公共事業で取り組める。採算があわず、見込のないのは交通（鉄道）関連事業ぐらいである。刑務所もPFIでやることになっている。

国が大量にPFIの手法で発注しているのでスーパーゼネコン（いわゆる建設業における商社）をはじめとする先行している有能力的なプロジェクトアドバイザーはそちらの方にシフトするはずである。小額のものには見向きもしない状態になりつつある。本当のところ、金利が極端に安く借りられる場合は、官庁自らがやった方が良いケースもある。地方は、PFIに対応する体制が整っていないところも多いから、これからの仕事だろう。受淫の機会が生まれる。

幸いに、岡山は借金王だからPFIについては早くから取り組み。PFIの先進県である。かなしいかな田舎者だからブランド志向で名前の売れたところに頼むようになっているが、地方企業等を育成するためにも考え方を改めてもらわないといけない。ただ、しかし、地方においては受け皿になる専門家不足と地方ゼネコンを始めとする建設業等の対応の鈍さは否めない。

私が、10年来、研究調査している岡山市における出石小学校及びその周辺の都市公園や西川縁道公園等の事案に対処すべく受注方などを岡山市と話したら、担当者から能力がないとか実績がないとかいわれて、ショック。少し荒れた。しかし、思い直して、見返してやろうと思いたち、研究調査に、お金を捻出して先行投資中である。会社をあげて勉強中で、近い将来、日の目を見たい。すなわち、東京をはじめ、各地で行われる学会や講習会等へ積極的に参加出席して実力を養成中。世の中の流れを的確に把握して、時勢に乗るように努めている。

市だけでなく国や県さらに町村あるいは公共性のある学校など、ありとあらゆる公共事

業に発注の意向があり、迎え撃つゼネコン等との双方にプロジェクトアドバイザー等専門家が必須なのである。十分な対応と対策を練り、いい提案をしていいものを安く作る実力があれば総合評価されて採用されるはずである。

そのために、ただ今現在、基礎学力を固めること、実力を養成すること、経験を積むことに傾注している最中である。もちろん本業の鑑定業も、まじめに誠実にこなしていますので、ご相談下さい。御依頼を待っています。(少し商売気が出ましたが・・・) 要は、5年先10年先を見越してターゲットを絞って新規開拓に力を入れているというところである。これらの行動は、一貫してまちづくりの一環なのである。みなさんも興味のある方は共同戦線をはりましょう。単なる金儲けだけでなく、よいまちづくりをして後世に残すこと、「やった」という充実した達成感を味わうことは、精神的な側面からもいい気分になれるはずです。

現在の世の中の流れている方向性を説明してみました。先見性を持つことは大切なことでしょう。ご期待下さい。皆さんも一念発起やってみられてはどうでしょうか？

4. 余談ですが・・・

カラオケが流行っているため、最近では声帯を傷める人が比較的多く、手術をする人は珍しくないようです。昔は、歌手の人がポリープができたと言って手術することがありましたが、最近では、歌手とは名ばかりでほどほどに歌う人が多く、ポリープも出来ないんでしょうか？ 余り聞きませんから。

つまらんことを書いている私は、大きな声でシャベッテいたためか、声帯の手術を行うことになりました。手術そのものは簡単な手術だそうで、短時間に終わるのですが、一週間程沈黙する必要があり、その方が大変かな？ 手書きで意思の疎通を図ることになります。

三食昼寝つきで、ちょっと休憩をかねて、一服というところですか。しかしそんなにのんびりもしておれそうにもありませんが・・・。適当にやりましょう。皆さんも気をつけて下さい。どこに落とし穴があるかもわかりません。少しの間は筆談ですが、頭ははっきりしていると思います。元気になったら、講演でガンバリたいと思っています・・・。今日はこの辺で失礼します。

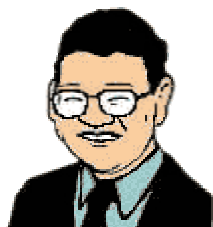
平成 16 年 2 月 15 日

事務所：岡山県岡山市大供 3 丁目 1-1 8

瀬戸内海放送 K S B 会館 4 F

TEL : 086(222)6591

FAX : 086(223)5839



人は必ず死ぬ！ということ 時間を有効に活用しよう。

雨入りが早い。いつも、帽子をかぶっている。最初の頃は他人の目が気になっていたが、慣れたら全然大丈夫。なれるということは、恐ろしいことです。

男のヒステリーが嵩じている？

「週刊現代」6月19日号に小泉純一郎総理大臣に関する記事がある。その中に高齢者の性生活の実態に詳しい『岡本記念クリニック』院長、岡本文氏の話が掲載されている。『古来、権力者は色を好みますから、小泉首相も基本的にそういう欲望は旺盛なんでしょう。それにもかかわらず、独身で禁欲生活をしていること自体が不自然です。小泉首相は、普通の人がいえないような無神経な言葉を平気で吐くでしょう。小泉首相の性格は独善的で排他的で唯我独尊です。何でも自分が正しいという態度は、十分な性の排泄をしていない反動なのかもしれません。男のヒステリーだと思います。』とのこと。なるほど、そういうことか。いわゆる病気なのである。

私は前々から顔色が悪いとみていた。総理たるものは国民の生命・財産などを支配できる最高の権力者であるから、慎重かつ冷静に行動してもらわないと危なくて仕方がない。抵抗勢力や民主党をはじめとする野党はしっかりしてほしい。すぐに喧嘩腰でキレ、居直る。政権を任せてよいのかすこぶる心配だ。早く交代願いたい。有名な言葉を思い出す。「平家物語」が“おごれるもの久しからず”と論破しているではないか。『祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰のこころをあらはす。おごれるものは久しからず、只、春の世の夢の如し。たけき者遂には滅びぬ、偏に風の前の塵に同じ』と。小泉政権は長くないと思う。国民はバカじゃないんだから、あんまりなめたらいけません。老婆心ながら申しておきます。

博士論文提出に意欲

“学問好き”な方だろうと自分でも思う。厚生年金は70歳まで現役で支払うと意気込んでいる。時間とお金をかけて、新しい分野の勉強に情熱を燃やしてあちらこちらに行っている。日本都市計画学会の中四国支部活動として広島で研究発表会があるたびに出席し

ているが、広島大学の教授曰く、学会誌に論文を発表すれば評価が上がり博士論文も通りやすくなるから、参加者諸氏も論文を載せて博士号取得に意欲を燃やしたらどうかというような話をされていた。岡山大学の千葉副学長によれば、外国では専門職業家が博士号を持っているのは当たり前で、皆持っているそうだ。「末は博士か大臣か」と昔の人は言った。自分とは関係のない世界と考えていたが、最近は60歳の手習いではないが、博士号取得の目標を掲げてやるのもいいんじゃないかなあと思うようになった。岡山市の女性職員も博士号を取得して話題になっている。

考えるに、仕事のみで人生を終わるのももったいない気がする。何らかの形で残せるものがあれば、これまた楽しいと思うようになった。本気で頑張ってみるかと思うようになった。大学は法人化されることになり、教授の評価も厳しくなる。「博士」を何人誕生させたかで教授の評価の点数が上がるようです。だから教授としても博士号取得に力を入れたいところらしい。今が思い立つのにいいチャンスの時かもしれない。

インターネットと書（署名）

驚いたのは、小学生がインターネットの書き込みの件で殺し合いまで演じたこと。事件のことよりむしろ、小学生がホームページをつくってやりとりしていることにびっくりした。そんなに進んでいるのかという思いだった。自分が再就職するとしたら、まず使ってくれるところは無いだろう。また、窓際族になっているだろう。なぜなら、インターネットをはじめ機器類を使用できないからだ。幸に、今の自分は従業員にやってもらって仕事が進んでいるから、さほどの不便さもないが……。小さい頃からキーボード等に慣れていることは大切だ。しかし、使えないからといって劣等感を持つ必要はない。知識過剰も困るのであって、知らぬが仏ということもあるからだ。

ところで、字を書くという事がおろそかになっている。日本語も書けない状態になりつつある。最近、経済学者の著名なアメリカに傾倒した大臣の署名を見る機会があった。ショックでした。どんなに立派な行動をなさっても、幼稚な字にガッカリした。自分の名前だけはしっかり書けるように練習すべきではないかな。“書は人を表す”。生き生きとした字が書ける人には感動する。新撰組の志士の書いた書は、いい字だ。生死の間をさまよっていたから気力が充実していたのだろう。小泉総理の字はいける口と評価している。いずれにしても、社会的に立派な地位にある人は、特に署名する機会も多いから、人から笑われないだけの字（署名）は書きたいものだ。私は人柄と書（署名）との関連性に興味をいだいている。何とも言うに言えない、かつ、目に見えない繋がりがあって書に表れた人間性に思いを深くしている。

スリーダイヤ（三菱）

三菱の創始者は岩崎彌太郎さん。高知県安芸市に生家がある。中流の農家のたたずまいで、特別立派な家だったというようなことはなにもない。青年が大志をいだいて上京し、明治維新のときに頭角を現して、日本の経済の基礎を築いたことは何人も否定はできない。100年程の歴史しかないが、一大財閥になった。生家に隣接する蔵にはスリーダイヤの

原型ともいえるマークがある。三菱自動車の水島製作所があるため、岡山県には関係者も多い。おごりと隠蔽体質は直らないようだ。三菱のクルマは買わないのではないかな。そうならば、どうなるかは自ずと分かるはず。たかだか100年余の歴史でありながら、日本の経済を覇権した会社グループである。立派というほかないが、悪い面が小出しされている。私は思うのだが、三菱の偉いさんだけに限らず社員の人々は安芸市の生家を訪ねて、ここから我々の会社が始まったのだと物思いにふけり、大きな記念碑を眺めれば自然と生き方が変わるのではないのでしょうか？参考までに申し上げたまでです。私は、四国八十八ヶ所めぐりの途中、二度立ち寄りました。是非行って見られたら心に訴えるものがあります。そういうあたりから反省しないと、会社の再起は難しいのでは・・・。

都心回帰（大学の巻）

都心部にマンションができ、便利さを求めて郊外から人が集まっている。岡山市においてもこの傾向は目立つ。大学は土地の安いところへ建っている場合が多いが、田舎だとお客である学生等が集まらなくなっている。そのため都心に教室をつくる傾向がある。先日、東京に行く機会があって「お茶の水」界隈を歩いた。若き青春の頃、神田駿河台で学生生活をしたので懐かしかった。日本大学理工学部や明治大学の伝統のある古い建物は、建て替えられて雰囲気はずいぶん変わっていた。神保町の古本街は、まだ昔のたたずまいが残っていた。私の行った中央大学は一昔前に校舎を全部売って、サルやキツネのでる多摩地区に行った。受験者が、がた減りして困っている。中大の法科大学院の校舎の新築は都心に建築中とのこと。当然のことだ。岡山のような田舎からは都心に憧れて行くのであって、田舎者が田舎へ行くのはいやだということ。都心に学校が建っている私立大学へ受験生が多く集まり、大学間の偏差値に変化をもたらしたから驚きだ。

学校経営者はやはり百年先のことを考え、何が要求されるかを考えねばならない。失敗は許されないのである。不動産業者や建築業者の甘い話に乗せられてはいけないのである。

やれるときにやること

先日、日蓮宗の身延山にお参りする機会があった。バスで三日間の旅でした。天候に恵まれ南アルプス・北アルプスがきれいだった。日本で一番高い所にあるJR「野辺山駅」や、エメラルド色をした火山の噴火口跡の池は神秘的だった。

神社仏閣は、概ね山の上であり、階段を登るようになっている。自分の足で歩けることがお参りする条件である。歩けるうちにお参りする必要がある。「後悔先に立たず」である。ぼやぼやしていると人生が終わる。私は昨年母親が亡くなってから大分考え方が変わってきた。仕事を中心に、趣味を織り交ぜて楽しむことが大切だと思うようになった。だから積極的に会合や旅などに出るよう心掛けています。要は出来るときにやることと思うようになった。先延ばしはダメ。人は必ず死ぬ。残された時間を計って、その間に何をどうするかを考えている。人生を充実させるために。

「地産地育」の考えを取り入れよう

「地産地消」という言葉が踊るようになった。私は「地産地育」を提唱したい。すなわ

ち、生まれた土地を中心に高飛びをさせずに地元で育み、郷土のために働いてもらうということ。大学へ行ったら鉄砲玉のようなもので、戻ってこないというのではなく、郷里岡山へ帰ってもらって、岡山で働いてもらい、岡山の発展のために、人肌抜いてもらうことだ。そのためには、地元岡山が就職の場をつくらないといけない。岡山が発展する為には人が集まり育たなければならないでしょう。いや、育てるという気持ちがなければならない。岡山の人は冷めたものを見方をする人が多いように思うが、もっと自分たちの街を大切にしているのではないのでしょうか。交通の便もよいし、インターネットなど、通信の手段も飛躍的に進歩し、さらに自然環境や気候など住みやすいところですから、申し分ないでしょう。ときたま、東京・大阪・名古屋・博多などへ行くと気分転換にもなりますね。岡山はテレビ局が全部入っている。それが当たり前と思っているが、地方に行くと数局しか写らないところも多い。慣れてしまうと当然と考えるのだが、それが怖いのです。情報が多すぎるのも善し悪しといえなくはないのです。本当のところ、あまり多くを知らない方が人生は、幸せかもしれません。ただ、井の中の蛙にはならないようにしましょう。

平成16年6月10日記す

事務所：岡山県岡山市大供3丁目1-18

瀬戸内海放送KSB会館4F

TEL：086(222)6591

FAX：086(223)5839



実りの秋を満喫しましょう！
「五風十雨」の日々でありたい。

高潮の被害を蒙った人も多かったのではないのでしょうか。台風が多い年でした。暴風雨には耐える街になっているのですが、思わぬ高潮という伏兵にマイッタというところですか。

1. 北欧・ロシアの旅

平成 16 年 8 月 28 日から 9 月 4 日にかけて海外旅行をしてきました。旅行記を別紙のとおり書いていますので、少々長いんですが、参考までにお読みください。

尚、要約したものが「おかやま財界」の「平成 16 年 10 月 5 日号」に 3 ページにわたって掲載されています。若干表現が異なるところと、同誌をお読みになっていない方もいらっしゃるでしょうから重複しますが載せました。

2. 暴力団事務所と固定資産税

山陽新聞の平成 16 年 9 月 23 日全県版の朝刊に、弊社が岡山市固定資産評価審査委員会の決定の取り消しを求め、岡山地裁に行政訴訟を提訴している案件の第一回口頭弁論があったことが報道されました。

隣地に暴力団事務所があり、地価は半値であるにもかかわらず、固定資産税の減額手続きを取らないことに対する怒りが爆発したというところですか。市町村長には「所要の補正」という減額手続きが付与されていますが、現実に値下がりしているのに、見て見ぬふりをして放置することは、行政の不作为による怠慢で許されないことだと思うからです。

先日、東京で「固定資産評価研究大会」があり、私は分科会で「暴力団事務所と地価下落の相関関係」というタイトルで研究発表をしました。全国からおいでになった市町村関係者・学者・実務家等々にとっても大変な関心事

で、高い評価を得たと思っています。市町村民の権利意識が高くなり、対応に苦慮しているのが担当者の本心でしょう。この件については裁判も、これからですから、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願いします。

3. 記念シンポジウム

来春、平成17年1月25日(火)午後1時から5時、メルパルクOKAYAMAで、アエル東ヶ丘共同事業推進協議会(会長は私になっている)による特別記念講演とパネルディスカッションが行なわれます。岡山市が開発した最終の住宅分譲地を短期間に全て売却したことの総括を兼ねて行なうものです。岡山市とNPO法人中国定期借地借家権推進機構、及び住宅メーカー18社が三位一体となって官民が共同で分譲事業を展開したことにより成功をおさめたもので、全国的にもリーディングケースになるものと評価されます。

特筆すべきことは

官民が共同で事業を展開した。これからは官と民は協働で仕事をする必要があり、時代の要請でもあるということが立証をされた。

所有権分譲が中心であるが、定期借地権制度を補完的に活用した販売手法が成功への原動力となった。

短期間(約半年の間に92区画を販売)に売却するためのノウハウが学習できたこと。売れないで困っている県・市・町に与える影響力も無視できないといえる。

初物好みの萩原市長とサポートした官民の共同戦線の勝利といえる。エネルギーを消耗しますが、学習効果を生かす場が欲しい。

以上については、弊社のホームページに取り込んでいますから必要な方々は、開いてみてください。

尚、連絡をいただければ、FAX送信を致しますのでよろしく願いいたします

平成16年10月12日 馬場 勉

(別紙)

北欧・ロシアの旅 = 初体験記 =

“世界はいろいろ”を実感！

先般、岡山経済同友会の視察団に参加して、フィンランド・デンマーク・スウェーデン・ロシアを8日間の駆け足で廻ってきました。視察による報告は別途公表されますので、私は見たこと、聞いたこと、感じたことなどをそのままに、おもしろおかしく感動と脚色を若干薄化粧して、旅行記を書いてみたいと思います。恥をしのび涙ぐましい気持ちで書きましたから、笑い飛ばして読んでください。ゆめゆめ執筆内容を信じてまねをしないようお願い申し上げます。所詮は生活文化の習慣やまちづくりの考え方の相違ですから、良い悪いの問題ではありません。

1. 機内での見聞

片道10時間の直行便の旅。ほとんどが行きは昼間、帰りは夜間だった。ロシア上空を飛んだとき窓から見えるのは、大小の川と湖、赤茶けた大地、それ以外は森林。人の住んでいる気配はない。広大な無尽蔵の資源を秘めた手付かずの領土。なんだかんだと試してみてもロシアは大国だ。翻って日本は資源が乏しく人口過密。少子高齢化が問題になっているが、適正規模の人口というものがあるだろう。一億以上の人口はいらないのでは。日本の歴史において今が一番多い。今の半分ぐらいがちょうどよいのではないかと思った。

県庁から職員さんが二人同行された。お付き合いいただき感謝感激。本庁からおいでになられている、私の息子ぐらいの年頃の偉い人がビジネスクラスへ。人数に制限があるため、エコノミークラスにまわった者も相当数いるのだが、将来の日本を背負って立つ若い人ゆえ「かわいい子には旅をさせよ」ということわざもあるから、待遇をよくするのも長い目で見れば善し悪し。財政危機をいう前に公務員の甘い体質の見直しの方が先のような気がした。甘えの構造は打破すべきだ。

2. ヘルシンキ

日本が戦後初めてオリンピックに参加したのがヘルシンキ大会。レスリン

グの石井選手がとったのが唯一の金メダルだった。電波状態のよくなかったラジオにかじりついて地球の反対側からの放送に小躍りして感動した経験がある。スポーツが今のように多様化していなかった時ゆえ、懸命に応援したものだ。ヘルシンキには、オリンピック当時のものも残っている。

3. 北欧及びロシアの第一印象

ロシアは西端のサンクトペテルブルク(旧レニングラード)限りの旅でしたから、そのみの話です。ご留意ください。皇帝やロシア正教などの建物を中心に広場がある。相当広い道路が建物を中心に走り、5階建て程度のレンガづくりのビルが建ち並ぶ。ビルは1階が店舗、2階はオフィス等、3階以上はマンションになっているのが標準的なビルの建築様式。1棟が結構大きな建物である。ホテルや博物館その他が建物群の間に混在しているという構成になっている。2000年~3000年たっているものが主流のようである。建築自体は補修や塗り替えなどにより維持され、内装工事はよくされている。中身はよく変わるが、外観は昔の状態がそのまま維持されているという事のようにである。

注目すべきは1階は店舗であり、住・商が混在していることである。回遊性をもたせて楽しめるようにまちづくりが形成されていること、大きな広場が多く、銅像等が目立つこと、中心になる建物より高い建築物はないこと、また道路が広いことなど、しかし最近では、中心部から郊外へと移り住む人がいること、大型のスーパーがかなり存在することなど。確かに古い建物が整然とした街並みは目を見張るものがあり、最大の特徴である。地震のない国々のため、レンガづくりで倒壊しない。日本は木造文化が発達した上、地震が多いので長持ちしない。それでも城や田舎風景など、あるいは昨今の東京などの高層ビル群など、他国にもひけをとらない面もある。

4. 若者はどこも同じ

金髪の女性は少なくなっているようだ。くわえタバコをポイと路上に捨てて、乗り物に乗り込む女性がいた。日本とあまり差がない光景だ。また、背中が見えるような上着を着ている女性も日本と変わらない。このような着こなしは、日本がまねたらしい。コペンハーゲンのコンビニでは、10時以降ビールなどアルコール類の販売はしていない。何が原因か知らないが厳しい社会だ。

それにしても北欧の若い女性は特に美しい。見とれるような娘さんも多い。衝動買いをするぐらいだ。若い時の美しさが邪魔をして、離婚率が高いこと

につながっているかもしれない。皮肉なことだが・・・。

5. ホテルでの失敗談

日本と違うのは風呂の文化だろう。日本では風呂につかって温まり体は外で洗う。温泉が人気を博している。反面、北欧及びロシアは、風呂は湯船のなかで全てを済ませる。シャワーが主流のようで、マリリン・モンローが泡立てた風呂の中でニッコリ笑うような悠長なものではなさそうだ。従って風呂桶の外で体は洗わないことと、サウナが主流ということのようである。

私は日本の外資系ホテルで、外で洗っても排水溝があって流れているのでつい外で洗ったところ、洗面場とトイレのタイルの床がプールになってしまった。朝まで待っても排水溝がないので抜けていなかったのに添乗員に頼んだら二人のメイドさんがバケツと雑巾で手際よくふき取ってくれた。どうも、よくあることらしい。少なくとも私が初めてではなさそうである。ツーリストの方にとっては当たり前のことでも、お客さんにしっかり事前に説明すべきではないか！習慣の違いを見せ付けられた。

風呂と洗面所の上に日本の和式の便器のようなものがあった。何に使うのか分からず、頭を洗うのに使用した。後で会員の先輩いわく、女性が使うビデだと説明された。なる程と思ったが、それにしても大きなものだったので半信半疑だったが、体格のよい女性のことゆえ納得した。

それにしても日本の風呂文化の方がゆとりがあってよさそうです。アパート生活が中心のため、水は豊富にあるため湯水の如く流しても、土地(部屋の広さ)がないということか。日本は、場所はあっても水道代が高いので水を大切に使う。世界はいろいろであるという事が本当に身にしみてわかった。このことだけで十分旅をした価値があるんだあ～。

6. 食事

やはり、味噌汁と米がいい。パンとチーズとサーモンなどを毎日食べるとこれはかないません。ロシアでは、日本料理店が約150店あるそうで、日本ブームだそうですが、日本人の経営者や日本人の板前はいないんだそうです。やはり日本食は日本がいいですね。しかし、あちらは水がいいようです。ビール・ワインはおいしかった。日本のビールもあったが、あちらのものに

慣れたらやみつきになるかもしれません。フィンランド機内のワインもおいしかった。飲み放題でした。食べることは、旅の重要な要因であることに心すべきでしょう。

7. ポルノ

お国事情が違わらしく、あちらでは24時間、ポルノを3局くらいでやっている。日本のようにボカシがはいり有料ということはなく、そのものずばりを、タダで放映している。見始めて間もない時は興奮するが、すぐに飽いてくる。ストーリーは日本の日活ポルノの方が優れているように思われる。私は長い間日活ポルノを見ていないので比較は怪しいですが・・・。

それにしてもお国柄で“性”に対する考え方が違うということ、男も女も体格が日本人の1.3倍はあるので、すべてにわたって相対的に大きく長いものだと思心した。確認したい人は北欧・ロシアへどうぞいらしてとくにご覧あそばされたし。言葉は通じなくても、内容は理解できる。この世界は、万国共通のモノらしいことだけは確認できた。

8. 通訳

北欧は英語が通じるが、ロシアはダメ。添乗員さんと現地通訳、それに心強かったのが会員さんの手取り足取りの案内でした。従って基本的には旅行は困りませんでした。日本語以外通じない私でも生きていくだけは出来るという自信はつきました。片言の言葉で指差し、お金を手の上に乗せれば買い物等はできます。通訳は不足しているようです。日本に行ったことがないという学生さんが日本語をうまく話すのには感心した。日本人のガイドさんがいましたから、安心した。フィンランド航空のスチュワーデスに日本人の方で美しくできのよさそうな娘さんがいました。ホッとしました。

長い間北欧で生活している人もいます。第2の人生はヨーロッパで過ごすのもよいと思いましたが、はたしてあちらで何が出来るかである。言葉は生活がかかれば早く覚えられるようだが、今からでは難しいだろうから無理。それにしてもチボリ公園で通訳していた日本人のお姉さんは、蝶ネクタイで板についていた。どこの国に行っても日本人は住んでいるし、日本人同士で親密に仲良くやっているようで誠に喜ばしいことです。それにしても外国で日本人に会うと懐かしく親しみを覚えるから不思議なものです。

9. 本場チボリ

コペンハーゲンで宿泊したホテルの前がチボリ公園でした。夜と昼の2回入場して散策しました。少しがっかりした。岡山では、すごくいいところのような話が流れていたのですが、規模が小さくチャイナタウンかと思うような中国料理店などが建ち並び、ベンチも少なくどうしようもなかった。ひいきめでみるのではありませんが、倉敷のチボリの方がよろしい。あと数年もすれば木が大きくなりよい公園になると思う。パントマイム・大道芸など、お客様に楽しみが生み出されるものを素人がボランティアで積極的にやったらよいと思いますが……。なお、10年ほど前のデンマークのチボリ公園はよかったそうです。今は変革を通り越して変質しているということでしょうか？

10. 昔どおりの街に復元

戦争で破壊されたところも多いようだが、昔どおりに復元しているようである。美術館は修復が進んでいる。琥珀や金などをふんだんに使っているところなど、目を見張るすばらしい所は多い。ロシアの美術館で民主党の前幹事長の藤井さんにあった。握手をした。異国のロシアで会えばホッとして仲間意識が生まれるから不思議である。

11. 地価高騰

日本はバブル崩壊後、いつまでたっても一部の都会を除いて地価がプラスに転じない。岡山も相変わらずモタモタしている。北欧はただいま土地高騰に沸いているようです。お金持ちの諸氏は外国に乗り込んで、不動産投資をしてひともうけさせてはいかがでしょうか。すごいらしいですよ。しかし将来バブルがはじけて痛い目にあっても、自己責任ですから自ら考えてやってください。特に「環境」にはかなりうるさいようで、車を通さないようにするために、オアスン橋の高速道の通行料を高くする（ヨーロッパでは通常、高速道はタダです。）ということも行なっているようです。瀬戸大橋の場合とは理由が違います。消費税がやたら高率のようです。福祉が充実するのはいいのですが……。

12. トイレに思う

日本人は身長が低いため、足の長さが短い。北欧に行って驚いたのは男の便器がやたら高いことには閉口した。その理由はなぜか？要するに、体格や身長が1.3倍あるから便器の高さも1.3倍あるということ。単純な話です。女性便所は分かりませんが、便所で水を流すとき日本では一般に押すのです

が、あちらでは引っ張る方式が多かったようです。それにしても便器は日本の方が進んでいるのではないのでしょうか。お湯でやさしく洗い流してくれるし、温風で温めて乾燥させてくれます。そういうのは無かった。やはり日本の方がよさそうです。日本人は身体に対するやさしさが根底にあるのでしょうかね～。

13. 広告・お金などなど

横文字が多く分かりにくいのが、結構日本の企業のネオンサインは多く見られた。日本は自信を持とう。外国のはげたかファンドに荒らしまくられている。元気が無いように思われた。本当の日本を思い知らされた。見直した。日本の商品も名前が少し違うようだが出回っていた。富士フィルム・リコーなどは目立った。残念ながら日本紙幣は使えない。国が隣同士でも各国で違うので通貨が大変だ。大抵はユーロと米ドルのみ使用価値があった。両替ができるので慣れればそんなに不便さの問題はなさそう。カードは万国共通の通貨として使用可。出回っている携帯電話は日本国内だけが通話可能で外国相互の会話は使えない。国際電話用のものが必要。NTT等は日本と外国が相互に使用できるような開発をして欲しい。(使用できる方法もあるようですが・・・)

また、日本のホテルでは、色々の身の回りの必需品をサービスとして用意してくれているが、あちらでは基本的には最低限のものしか備えていないものと考えて、準備しておく必要がありそうです。

それにしても外国旅行慣れした人はよいのですが、あまり体験したことのない者は少々疲れます。それでも会員の友情はありがたかった。色々教えてもらいながら失敗もしたが、楽しい旅でした。お金は勿論必要ですが、仕事をほおりだして時間がとれる職場の環境が必須です。私は従業員のおかげで時間をとることができ、行くことができたので職員に感謝しています。多方面にわたりサポートしてくださった皆様、本当にいろいろとありがとうございました。また、どこか遠くへ行ってみたいな～。誰か連れて行ってくれないかな～。お願いします。

H16.9.28 馬場勉 記

事務所・岡山市大供3丁目1-18

瀬戸内海放送K S B会館4

TEL 086(222)6591 FAX 086(223)5839

